

# ふかまちのまど

第一六号 〇七年一月一日  
発行元 深町町内会連合会  
連絡所 六三三三八八二

## 町内会連合会活動報告

### 三原市民体育大会参加

体育部長 麓 正徳

第三回三原市民体育大会が、十月七日、三原運動公園で開催されました。十四種目の競技が、終始なごやかな歓声のなか行なわれしました。

競技の中でも、むかで競争、縄跳びトラック競争がどこのチームも苦戦のようでした。クラスごとの優勝は次の通りです。



- A 田野浦
- B 本郷東
- C 鷺浦

深町はCクラス七地区で六位でした。唯一の一位は、小学生（竹野龍二・松本陽香・射場瑞月・中川岳人・小川真奈・射場涼介）のポール蹴り競争でした。選手の応援をして下さった皆様大変ありがとうございました。

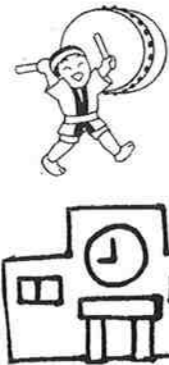
### 深小だより

#### 勇仕な和太鼓

深小学校校長 山本恵司

日本民族の誕生以来、何世紀にもわたって継承されてきた日本の和太鼓文化は、今、あらためて注目されています。和太鼓は、初心者にも近づきやすい単純さと、リズムのみで聴く人を惹きつけるという奥深さ難しさを兼ね備えています。

また、小学校の学習指導要領の音楽においては、地域社会との連携を深め、地域の伝統文化との関わりを大切にしながら、我が国の伝統音楽の指導を一層充実させていくことが重視されています。



深小学校においては、伝統ある「深太鼓踊り」が、壮年会の皆さんのご指導により、子どもたちに代々受け継がれ、躍動感と活力に満ちた児童の姿が見られます。

そこで、今回、十一月一日（木）に予定しております地域参観日には、和太鼓のプロ集団「太鼓本舗かぶら屋」をお招きし、六年生の児童も加わり迫力ある和太鼓演奏を聴いていただくよう計画しておりますので、是非お越し下さいませようご案内申し上げます。

### 歩く会にご参加を

健康づくり推進員 高崎修



小泉龍泉寺の石仏と四国連山の眺望を楽しみましょう。

月日 十一月二四日（土）

- 行程
- 上組公民館発 八時三〇分（車）
  - 龍泉寺駐車場発九時二〇分（徒歩）
  - 龍泉寺山頂着 十時三〇分
  - 風食
  - 龍泉寺山頂発 十二時
  - 龍泉寺駐車場発十三時（車）
  - 上組公民館着 十四時頃
  - 持参物 風食 水筒

前回の鳴滝山鉢ヶ峰には十一名の参加でした。

### 尚寿会だより

#### しまみしんきん福寿会 ゲートボール大会 銅メダル(三位入賞)



尚寿会会長 幸谷 満夫

秋晴れの十月十七日、「しまみしんきん福寿会第二七回ゲートボール大会」が、和田沖グラウンドにおいて開催されました。

西は八本松より東は瀬戸田、尾道地区より八八チームが参加し四ブロックに別れ、それぞれ技を競いあいました。

深町尚寿会チームは第三ブロック（二二チーム）で戦い、三位に入賞。深町尚寿会の対戦成績は次の通りです。

- 第一試合 深町尚寿会 9 - 9 小坂白寿会 (同点、ジャンケンで勝ち進み幸運を掴んだ)
- 第二試合 深町尚寿会 11 - 10 幸崎町南
- 第三試合 深町尚寿会 25 - 9 幸崎町南
- 第四試合 準決勝 深町尚寿会 10 - 14 沼田川クラブ

深町チームの皆、ベストコンディションではなかったが、よく頑張りました。次の機会、頑張って行きたいと思えます。

### 病院での職場体験学習

三原二中二年 畑中真璃乃

私の将来の夢は看護師だけど、あまり仕事内容は知らなかったのので、注射とかだけでなく介護してあげるのもあったので、その仕事内容の多さにとっても驚きました。

私は、看護師のみなさんが患者さんに声かけをするのを見て、すごいなあと思いました。耳が聞こえないと思う人にも「もしかしらたら反応しないだけで聞こえているかもしれない。」と言って声かけをしていたのです。いいなあと思いました。



他にも、マネキンに心臓マッサージをさせていたを見て、実際にドラマなどで見るのは全くちがいが、かんたんではないし、二度くり返しただけでもすごくつかれました。私が「これを人にした事はありますか？」と質問したら、「何度もありますよ」と言われて、すごく驚きました。

あとは、患者さんの気持ちになつてみる体験もしました。足浴では、やった人とやられた人の感じる事にずれがあつて、驚きました。目が見えない設定で、病院内をまわつた時は、すごく怖かったです。

他にも、リハビリの見学でいろいろ体験出来て良かったと思えました。電気を体に流すのは少し痛かったけど、こんな経験はあまり出来ないもので、とても貴重だと思いました。リハビリの先生がとても楽しい方だったので、患者さんも自分の体をまかせた事が出来るんだなあと思えました。

### 深町子どもを守る会

#### 子どもを みんなで守りましょう



深小の子どもは午後四時頃 下校します。※日によって、異なることがあります。

近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。あいさつ、声かけをしましょう。

### 謹んでお悔やみ申し上げます

- 西永 信子 様 八八歳
- (上組 清国講)
- 山垣内 尚 様 七九歳
- (下組 四班)
- 国安 昌幸 様 五十歳
- (下組 一班)
- 十月十八日

### 深町各種団体十一月行事予定

- ◆町内会連合会 ターゲットパレード大会 十八日
- ◆中組町内会 親睦旅行(出雲大社) 十八日
- ◆小学校 地域参観日 一日
- ◆就学時検診 六日
- ◆貯金日集金日 七日
- ◆諸雑費集金日 七日
- ◆園児募集 八日
- ◆英語活動・体重測定 九日
- ◆学習発表会(二次) 九日
- ◆誕生会 十日
- ◆英語活動・高校 十日
- ◆如水館学芸大会 十日
- ◆舞台芸術定期発表会 十日
- ◆(県民文化センター) 十日
- ◆中学校文化行事 十八日
- ◆(新高ホール) 十八日
- ◆入試個別相談会 二十・二十八日

### 展望席

小春日和、縁側の日だまりで、子猫が気持ちよさそうに眠っている。そのそばで、お婆さんが二人、楽しそうに話している。よく聞いてみると、殆んど孫自慢、嫁の悪口と近所の噂話。ひとときり話して、すっきりした気持ちになって帰っていく。ときには、行商のお婆さんが見合写真を持って来て、縁側に腰掛けて縁談話を勧める。夏の暑い夜は、縁台で夕涼みがたら近所の人と四方山話に花を咲かせる。子供達は縁側でへぼ将棋を指したり、お手玉等をして遊ぶ。

よしよしは別として、縁側や縁台を通して近所隣とのコミュニケーションや縁が深まり、見知らぬ人との良い縁も生まれ、耳寄りな情報を得ることもあります。近頃では、こんな光景はほとんど見られなくなりました。これも最近では開放的な縁側が少なくなつたこともあるでしょう。特に新築の家では縁側がないものが多いようです。

もつとも家を訪ねてくる人にも用心しないと、とんでもない人(悪徳商人)がやってくることもあります。悪徳商人は隙があれば家の中へ入ろうとします。そして家の虚偽の欠陥等を指摘し、言葉巧みに商品売りつけたり、工事を強要したりします。不審者は絶対に家の中に入れてはならないのです。縁側でゆっくり話したりするのは危険を伴う現実があります。

常に警戒し、油断できないような世の中になりました。そんな中、近所隣との親睦を深め安心して生活できるための基本は、やはり気持ちの良いお互いの挨拶と笑顔が一番かと思えます。

四十六章 視界の拡がり

①公助という視界  
前章で、公助、互助、自助について触れました。この三つの視界が欠けていると物事がうまく進みません。

公助(おおよけの助け)、すなわち、県、市行政の助けを意味します。幸いにも、深はこの点では極めて恵まれていました。

②問題は深にあり  
ところが、深の側に全域を代表する窓口がなく公助に正対できないところが問題がありました。

平成四年、五年当時の状況にあわせていえば、三つの町内会はそれぞれに思うままに運営されていたので、何も変わっていないのです。

③役員委員の改選  
例を一つあげれば、会計年度がありまして、

深の町内会の会計年度は、一月に始まり十二月に終わります。会計年度には、役員委員の改選を伴います。ですから、町内会で選出された役員委員の任期も、また、一月から十二月となります。

④公助との不具合  
公助の主体である行政は、四月に始まり翌年三月までの会計年度です。予算も人事異動もこれを基準に動きますから、このままでは、歯車はうまくかみ合わないのです。

⑤混乱の具体例  
平成四年十月から深全域を統括し始めた「山中学園移転深町協議会」をたち上げました。この会も四月から翌年三月までの会計年度をとりました。役員、委員の任期も会計年度と合致したのになります。

「最近頑張っている人」

如水館高校 機械科二年 小川 翔平

自分が今頑張っていることはクラブです。今は三年生の先輩たちが引退して自分たちの代になりました。県大会ベスト四を目指して日々練習に励んでいます。チームのみんなと一勝でも多く勝っていきたいです。自分の最大の目標は全国大会出場です。一度だけでも全国の舞台に立つてプレーしてみたいです。こうやって学校へ行ってクラブができるのもすべて両親のおかげだと思っています。その両親のためにも自分が頑張っている姿を見せてあげたいです。そして、これからも自分の目標に、向って頑張って生きていきます。少しでも自分たちを見てもらいたい。力をあげられたらなと思っています。

人口の少ない深では実際には役員委員は、多くは町内会と協議会の双方の役員委員を兼ねていました。  
役員、委員の任期が異なる二つの組織にまたがる複雑さです。これが改められない限り、深地域は行政からも、建築土木工事関係からも、山中学園からも信頼されないのです。

⑥互助という視界  
互助というのは、もともと、近隣コミュニティの助け合いを意味します。

ただし、深の場合には、上、中、下組各町内会相互の助け合いと考えた方が実状に合っていました。

深の峠の向こう側では(公助もあり)工事着手の準備も進んでいました。深地域に責任ある窓口ができることを待っていたのです。



⑦信頼される窓口を  
今までに述べたような状況のもとで、応急手当てとして平成四年十月に「山中学園移転深町協議会」を作りました。というより作らざるを得なかったのです。以降、地域内部に矛盾を抱えながら、応急の組織ながらも、着々と実効をあげてまいりました。信なければ事はなりません。

⑧気になりながらも  
ただここで一言、名称について記録しておきたいことがあります。

峠を越えた外の世間では山中学園移転深町協議会というひとりがりの名称では、地域代表として認知され難いのです。これは(連合)町内会の名を冠すること、直ちに解決するのです。それがわかっていても深ではできなかつたのです。今は、出来ることを実行するのみと覚悟を決める他ありませんでした。



その次に頑張っていることは機械の実習です。自分は二年生から機械システム専攻へ進みました。将来は取得した資格を活用できる仕事につきたいと思っただけです。このクラスはすぐくまるとまりがあると思います。このクラスの一人になれてすごく嬉しいです。このクラスみんなと一緒に卒業したいです。実習では旋盤、溶接など様々な事を体験でき、すごくためになりました。これからは何事にも一生懸命取り組んでいきたいです。▲▲

四十七章 学園橋命名

①諮問  
平成四年十二月、新設架橋の名前を考えて案をだして欲しいと、市役所から諮問がありました。

②慎重審議  
平成五年一月四日、協議会役員が集まり慎重に論議しました。



③答申  
同年同月、答申案決定、御用始めが過ぎるとすぐに提出しました。

◆橋の名称、学園橋

◆架橋によせる想い  
④町内在住の幼児、年輩者のすべてに親しまれるような橋の名前でありたい。

⑤また、隣接の広域の市町村在住者、あるいは深への訪問客にも親しまれる名前であって欲しい。

⑥特に、朝夕、この橋をゆききする少年、少女の記憶に残る橋でありたい。人は、十代を過ぎた時は、代は鮮明に残るものです。

⑦バス停留所  
「学園橋」というバス停も設けたい。(これは未だ実現していません) (次号へつづく) ▲▲

「ピッコロだよ」

感謝祭にむかいます

今年も葉ボタン、パンジー、ピオラの季節を迎えました。他にもストック・金魚草等々。ハウスの中が満開の頃、ピッコロでは左記の通り「感謝祭」を行います。ぜひ、お出かけ下さい。



日時 十一月十八日(日) 十時～十四時  
場所 ピッコロ内  
催物 ☆花の感謝祭特別価格  
☆銭太鼓・笠踊り  
☆フオークシンガー「チヨビ」によるミニコンサート、ゲーム(景品付)  
※うどん(先着五〇名)、ポップコーンなどサービスされます。又、来場された方には苗のプレゼントもあります。▲▲

短歌・俳句・詩

中組 仲峠講 竹内ひろみつ

秋なのか妻と語りある孫娘

うなじの辺り恋の気配す

今日も秋明日も秋だよ残暑なり

総理辞任で日本激震

何事もなかったように秋日暮れ

わが生きざまも忘れられる

「私の幸せ探し」

元深町中組 坪見博文

昭和三十年中学を卒業した。就職も出来ず、ぼんやりしていた時、大工の叔父さんが来られて左官の手伝いをしてくれないか、と言われ三年間弟子として働いた。後、職人として三年間働きながら定時制高校に通う。卒業の時、先生の勧めで笠岡の肥料問屋に就職、住み込みで働いた。高校の先輩が二人営業されていて、やさしく親切に指導してもらった。それなのに営業が嫌いで三年で退職、二十四才になつていた。

後、尾道の配管材料販売会社に就職、主に造船所へ資材を納入する仕事で毎日が楽しく土、日曜も働き夜は十時頃まで五、六人で楽しく働いた。数年後、大嫌いだつた営業の仕事もした。十三年勤めて又退職。体調も悪く迷つた。



アルバイトで水道工事を手伝っていた時、造船所の部長さんより電話があり自分で仕事を始めることに決めた。造船所へ資材を納入したり、色々な会社の下請を家と嫁さんと一緒に加工組立等をした。造船所が次々と三社も倒産、数枚の手形が不渡りとなつた。もうだめかと思つた。平成になり離婚。

五十才になつた時、六十歳からは自分の一番好きな生活をすることを決めた。まず資金を貯め、ふるさとの河内で生活する準備を始めた。色々な人から建具、家具、照明器具、食器、生活に必要な品物をたくさんいただき集めた。平成十一年着工。十六年九月に入居。外部はまだ荒壁のままだが今やと大きな幸せに出会った。毎日が楽しく、子や孫にも仲良くしてもらい、自然と一緒に生きていく。元気で周囲の人に心配かけないで幸せを続けたい。▲▲